

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	石巻赤十字看護専門学校
設置者名	日本赤十字社宮城県支部

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	10 単位 240 単位時間	9 単位 240 単位時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページ http://www.ishinomaki.jrc.or.jp/school/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	石巻赤十字看護専門学校
設置者名	日本赤十字社宮城県支部

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	学校運営会議
役割	本校学則に規定される会議であり、学校運営に関する主要事項を審議する本校における最高議決機関である。 本会議で決定した運営方針に基づき、アクションプラン等を作成し、教育水準の向上に取り組んでいる。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
日本赤十字社宮城県支部 事務局長（現職）	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	養成主体である支部の事務局長
石巻赤十字病院副院長 （2名/現職）	”	母体病院副院長 非常勤講師
石巻赤十字病院院長補佐 （現職）	”	母体病院院長補佐 校医
石巻赤十字病院副院長兼看護部長（現職）	”	母体病院副院長兼看護部長
（備考）		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	石巻赤十字看護専門学校
設置者名	日本赤十字社宮城県支部

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>【作成過程】</p> <p>○専任教師 教師会議で検討後、担当科目を作成している。</p> <p>○外部講師 学内カリキュラム検討委員会より、本校の教育目標等を提示し、授業計画作成を依頼している</p> <p>【公表】</p> <p>○方法 ホームページへ掲載し、閲覧できるようにしている。</p> <p>○時期 4月に掲載。</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.ishinomaki.jrc.or.jp/school/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
「石巻赤十字看護専門学校履修規程」	
<p>○成績評価 授業科目ごとに定められた基準(シラバスに記載)に基づき、担当者が試験成績および当該授業に対する日常の取り組みと成果を総合的に判断している。</p> <p>○判定基準 100点から80点をA、79点から70点をB、69点から60点をCとして合格、59点以下をDとして不合格とする。</p> <p>○単位認定 教育会議で審議し認定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○評価方法 授業科目毎の成績評価（100点満点）の平均値を算出し序列をつけている。</p> <p>○公表 各教科担当者より、授業開始日に説明しているが、各学年担任からも成績配布の際に再度説明している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	http://www.ishinomaki.jrc.or.jp/school/
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○内容 卒業時の到達目標、学年目標を策定している。「石巻赤十字看護専門学校履修規程」</p> <p>○卒業認定 教育会議で審議し認定している。 本校に3年以上在学し、教育課程に定められた授業科目を履修し、旧課程（99単位）、新課程（103単位）を修得した者について卒業を認定する。 出席すべき日数の3分の2を超えて出席した者について卒業を認める。</p> <p>○公表 在校生には、「学生ガイド」、「履修の手引き」、「シラバス」</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	http://www.ishinomaki.jrc.or.jp/school/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	石巻赤十字看護専門学校
設置者名	日本赤十字社宮城県支部

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	日本赤十字社本社ホームページ http://www.jrc.or.jp/about/financialresult/
収支計算書又は損益計算書	http://www.jrc.or.jp/about/financialresult/
財産目録	http://www.jrc.or.jp/about/financialresult/
事業報告書	http://www.jrc.or.jp/about/financialresult/
監事による監査報告（書）	http://www.jrc.or.jp/about/kansa/report/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	新教育課程 3090 単位時間／103 単位 旧教育課程 3060 単位時間／99 単位	1515 単位 時間/ 59 単位	510 単位 時間/ 19 単位	1035 単位 時間/ 23 単位	30 単位 時間/ 1 単位	
		3,090 単位時間／102 単位					
生徒総定員 数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		113 人	0 人	10 人	人	77 人	
備考		「開設している授業の種類」は新旧教育課程混在で表記している					

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 本校には、赤十字の基本理念である「人道」の実践者育成、赤十字救護看護師を育成するという使命がある。この2つの命題から「人間」、「環境」、「健康」、「看護」、「学習」、「赤十字」の6つの主要概念に基づきカリキュラムを作成している。
成績評価の基準・方法
（概要） 授業科目ごとに定められた基準に基づき、授業科目担当者が試験成績および当該授業に対する日常の取り組みと成果を総合的に判断する。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業・進級の認定は各授業科目の成績に基づき教育会議で審議し決定する。（授業料等の滞納のない者） ○卒業認定 本校に3年以上在学し、教育課程に定められた授業科目を履修し、103 単位（新教育課程）、99 単位（旧教育課程）を修得した者について卒業を認定する。（本校学

<p>則第 29 条) 出席すべき日数の 3 分の 2 を超えて出席した者について卒業を認める。 ○進級認定 学年ごとに定められた単位数の全単位を修得した者について進級を認定する。 授業科目を履修した学生に対し、試験により単位を与える。(本校学則第 27 条)</p>
<p>学修支援等 (概要) 担任、キャリア教育委員会、国家試験対策委員会、校医、学校カウンセラー等による 学業継続、国家試験・採用試験合格率 100%に向けた相談体制がある。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
38 人 (100%)	1 人 (2.6%)	37 人 (97.3%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容) 担当教師を 2 名配置し、学生一人一人が希望する就職先に就職できるよう、学年ごとの支援計画を作成し実施している。			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 看護師			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
120 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ○担任による面談の実施や、健康担当教師、学校カウンセラーを配置し、学生からの相談体制を整備している。 ○保護者と連携を取り、相談活動の充実に努めている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護 学科	150,000 円	400,000 円	50,000 円	その他は施設整備費 令和4年度入学生より
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 「赤十字看護専門学校における学校評価ガイドライン(日本赤十字社平成27年度版)」 に基づき実施している。 http://www.ishinomaki.jrc.or.jp/school/		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制) 令和元年度より、学校関係者評価者会議を開催し、評価者(各学年の保護者代表)へ自己評価結果を報告し意見を頂いた。今年度は、保護者全員へのアンケート実施等を考 えている。 いずれは臨地実習施設職員、大学の教職員、地域住民へ拡大する予定である。(学校評 価実施規程による)		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
保護者	1、2 学年 年度初めの保護者会か ら翌年度の保護者会ま で 3 学年 年度初めの保護者会か ら 3 月 31 日まで (任期は 1 年。代表者 は毎年度保護者会で選 出)	保護者代表 6 名 (各学年 2 名)
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://www.ishinomaki.jrc.or.jp/school/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<http://www.ishinomaki.jrc.or.jp/school/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H104392020014
学校名	石巻赤十字看護専門学校
設置者名	日本赤十字社宮城県支部

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		25人	24人	24人
内 訳	第Ⅰ区分	12人	11人	
	第Ⅱ区分	-	-	
	第Ⅲ区分	-	-	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				24人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	-		
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	-		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	0人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。